



令和4年9月/認定

株式会社海津屋／富山県

昭和50年創業。富山県の地域資源である「氷見うどん」を製造・販売。近年のコロナ禍の影響による店頭販売の急激な減少やインターネット通信販売の増加への対応、および生産能力強化による製品1単位あたりの製造コストの削減を目指し、計画を策定。



①IT導入

顧客管理DB(データベース)や受発注管理DB、生産管理DBを統合する基幹システムを導入する。また、POSレジ情報も合わせて統合し、販売面のデータ分析に必要となる労働投入量の低減および製品の製造方法改善を図り、付加価値額の拡大につなげる。

②暗黙知の形式知化

生産データをもとに統計的に割り出した配合割合と熟練作業員固有の経験知をマニュアル化し共有することで、製造工程の標準化および多能工化を図り労働投入量の削減につなげる。

③設備投資

自動包装機を導入し、従来では3人必要だった包装工程を1人にて対応可能にし、自動化・生産性向上を進める。

■経営力向上計画の策定による効果

- ①DB(データベース)を統合する基幹システムの導入により、データ分析に必要となる労働投入量を削減、製造方法改善により付加価値を向上。
- ②暗黙知のマニュアル化により、製造工程の標準化・従業員の多能工化を推進。
- ③設備投資により包装工程の機械化を進め生産性を向上。